

年間約30万人が受ける視力矯正

失敗しない 「レーシック」 知っておくべき5か条

監修/伊藤隼也 取材/医療情報研究所

レーシック手術が日本で行われるようになって10年。手術代10万円を切るものまで出て、年間30万人も受けているというから、私も考えてみようかな、という人は多いはず。しかし、一方で術後つらい症状に悩まされている人も少なくない。後悔しないために、手術前に絶対知っておくべき基礎知識。

私たちにとってメガネ、コンタクトレンズに続いて第3の視力矯正といわれる「レーシック」。いまや視力矯正法として身近な医療となりつつある。

1990年に「レーシック」が開発されてから今年で20年。「安全、メガネ、コンタクトは不要」そううたわれてきたレーシックだが、実際、正しく受けるにはどうすればいいのだろうか。

昨年7月、銀座眼科（東京・銀座）でレーシック手術を受けた患者70名以上が角膜炎などに集団感染する事件が明るみに出た。現在も捜査は続くが、いまだ真相は解明され

ておらず、この6月11日には、感染被害患者らが検察庁や厚生労働省を訪れ、事件の早期解決を要請している。

「検査や適応などきちんと守っていればレーシックは満足度の高い視力矯正手術といえます。ただその一方で、事前の説明がきちんとなされていないなかつたり、レーシックに向きな人に手術を行ったりというルールを外れるクリニックもあります。受けるかどうかを決める前に、きちんと正しい知識を持つことが大切です」（レーシックに詳しい医師）

レーシックとは医療用レーザーで角膜を削り、屈折率を変え、近視・遠視・乱視を矯正する手術だ。

アメリカでは「視力の矯正手術といえばレーシック」といわれるほどスタンダードな治療法で、'99年にプロゴルフファアのタイガー・ウッズ選手が手術を受け、ツアー6連勝を果たしたことでも知

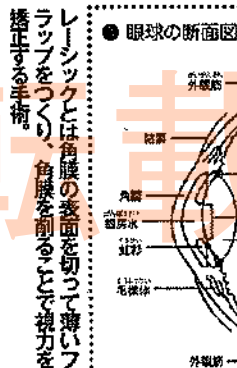
られるようになった。

手術は、①角膜の表面をレーザーで薄くスライスし、「フラップ」というフタを作る。②「フラップ」をめくり、その下の角膜にレーザー光線をあて、角膜を削る。③削った後、フラップを元の状態に戻し終了。

翌日には視力の回復が自覚できるといわれる。

医学的にも画期的な技術と認められ、検査や適応などをきちんと守ってさえいればおむね安全といわれている。日本眼科学会「屈折矯正手術に関する委員会」によると、レーシックなどを含む屈折矯正手術における角膜感染症の発生頻度は5000例に1例程度、つまり0.02%にすぎず、銀座眼科の例はきわめて異例な事象だったといえる。しかし、この角膜感染症だけがレーシックの「リスク」ではない。

手術を受けた後「劇的に変わった」視界が明るくなったとの声がある一方、手術が成功して、視力が回復したもの



● 眼球の断面図

レーシックとは角膜の表面を切つて薄いフラップをつくり、角膜を削ることで視力を矯正する手術。

肩こりと頭痛でうつ症状に…後遺症に悩む人も…

の、夜間に光が滲んで見えた
り、日中の光がまぶしすぎて
サングラスなしでは外を歩け
なかつたり、目が乾燥して炎
症を起こす「ドライアイ」に
なったりする症状を訴える人
も少なくない。これらの症状
は時間がたてば慣れて気にな
らなくなるという人もいるが
ずっと悩まされ続けている人
もいる。

肩こり、めまい、吐き 気…後遺症の危険性

小学生のころに視力が2・
0あった前田篤さん(33才・
仮名)は、昨年レーシック手
術を受けた。術前の視力は左
右ともに0・15だったが、術
後当日には、小学生時代と同
じ視力2・0まで回復。
「遠くはよく見えるようにな
りましたが、近くの物が見え
にくくなり、目がすぐ疲れる
ように感じました。起きてい
る間、ずっと違和感がある状
態であまりに疲れるので、う
つ状態となり薬をのむほどに
なりました。長時間パソコン
で作業をしていると、頭痛や
肩こり、首のこり、手のしび
れも出ます。お酒を飲むと目
が充血して、テレビゲームが
好きだったので、一切で
きなくなってしまうました」
パソコンや本など、近くの
物を見るときに裸眼で支障が
なかった人は、レーシックを

受けたために、かえって不便
な生活を強いられることもあ
る。特に「昔は遠くまでよく
見えていた」という人は注意
が必要だという。
4年前に手術を受けた倉持
優子さん(34才・仮名)は左
右0・05から1・2に回復し
た。しかし、術後に次のよう
な症状が表れた。
「暗い夜道などで街路灯のよ
うな明るいものを見ると、ま
ぶしくてたまらないんです。
物が二重に見えるようになって
て、めまいや吐き気を覚える
ようになりました」(倉持さ
ん)

再度診察して乱視と診断さ
れ、その調整手術を受けたと
き、倉持さんは妊娠9か月だ
った。
「めまい等の症状は明らかに
過矯正の原因と思われる。
しかも日本眼科学会で出され
ているレーシックのガイドラ
インでは妊娠中、または授乳
中の手術は、禁忌(人体に悪
影響を及ぼす危険がある治療
法を避けて行わないようにす
ること)といわれています。
妊娠中の手術を行っているこ
と自体、大変な問題といえま
す」(前田・医師)

ウェブデザイナーの宮澤友
美さん(24才・仮名)は、昨年
12月に手術を受けた。術前視
力は左右0・06。術後、右1
・0、左1・2に回復した。
「手術翌日から、白い膜に覆

われているように目の前が霞
むようになりました。まるで
コンタクトレンズが汚れて、
視界が悪くなったような感じ
です。日中はまぶしくて、サ
ングラスがないと歩くこと
もできなくなりました」
色彩のコントラストも低下
微妙な色の識別ができなくな
っていた。

「職場で上司に「青と群青が
区別できていない」と厳しく
注意されて初めて色の識別が
できていないことに気づいて
ショックでした。パソコンの
画面を見ても、色の違い
がわからなくなっていたんで
す」(宮澤さん)

レーシック手術を受けると
コントラストが低下する恐れ
があるといわれている。しか
し宮澤さんはそのことを医師
からまったく説明されていな
かった。今後、仕事を続けて
いけるのか、いまま悩んでい
るといふ。

これらの3名は、手術を受
けた医療機関に症状を訴えた
が、「手術は成功しています
少し様子を見ましょう」とい
われるばかりで、後遺症の改
善とは程遠かったという。
レーシックは誰が受けても
効果があるものではないとい
う。どんな人がどのように受
ければいいのか、知っておく
べき5つのポイントとは――

①受けてもよい人
日本眼科学会のガイドライ

日光がまぶしい、

は、一般には中程度の近視(視
力の目安は0・5〜0・05ほ
ど)の人の矯正が理想であり
強度近視の場合は角膜の厚み
が充分にあるかなどを確認し
たうえで慎重に行わなければ
ならない。

②受けてもよい人とは 白内障、重症の糖尿病や重



症のアトピー性疾患など、創
傷治癒に影響を与える可能性
が高い全身性あるいは免疫不
全疾患がある人は受けられな
い。妊娠中または授乳中の女
性も受けられない。
抗うつ剤や精神安定剤など
の向精神薬を服用している人
もレーシックの実施には注意
が必要だ。
③ドライアイ、性格もチェック
さらにガイドラインでは定
めていないが、ドライアイの
症状がある人は、術後、症状
が悪化する恐れが高いため、
慎重に検討するべき。どうし
てもという場合は、ドライア
イの治療を行った後に、手術
を行う必要がある。

また、少し見え方が変わる
だけで気になってしま
う神経質な人も向かず、
体調によりコンタクト
レンズが合わなくなる
人も避けた方が無難だ。
④適年齢は20〜30代
近視矯正のレーシッ
ク手術を受けても、加
齢により老眼になると



その効果はなくなってしまう。
一般的には20〜30代後半が望
ましい年齢といわれる。
「20代で手術を受けた人のう
ち98%の人が満足している
といえます。年齢が上がると
加齢の影響が出てくるので満
足度が下がります。ピントの
調節力が落ち、水晶体の柔軟
性がなくなるため、20代のよ
うな満足度は得られないので
す。
さらに40代後半以降になる
と、レーシックを受けても、
また別に老眼鏡が必要になる
ため、メリットがありません」
(前田・医師)

もうひとつ理解しておくべ
きポイントがある。今回の取
材を通じ、医師と患者との間
では、術後の見え方に対し、
大きな認識の差があることが
わかってきた。
レーシックは20年の歴史の
なかで、さまざまな検証を重
ね、安全性を高めることに努
力が重ねられてきた。しかし、
医師にとって、よく見えるよ

レーシックによる合併症



レーシックが受けられない人



レーシック手術では角膜を
削る量を増やせば、遠くまで
よく見えるようになる。
単純に視力を上げることだ
けを目的とするならば、最初
から強めに矯正することにな
る。
しかし、よく見える視力は、
必ずしも、最適な視力とは
いえない。普段の生活で手元
しか見えない人にとっては「見
えすぎる」状況となってしまう
からだ。
「視力1・5」に回復すれ
ばよく見えるという象徴のよ
うに掲げていますが、たとえ
ば都会でよく普通に生活して
いて、仕事はパソコン作業が
中心のような人は日常生活に
おいてそこまでの視力は必要
ない場合もあります。かえっ
てよく見えすぎるため、眼精
疲労になることもあります」
(別の眼科医師)

患者は日常生活に支障がな
い「見え方の質」を求める。
何を指して手術の成功という
のだろうか。
「手術結果は検査値で判定さ
れてしまい、見え方の質は保
証していません。そのクリニ
ックが公表する。成功率」と
は、手術を受けた患者の満足
度を示すものではないのです。
クリニックにとっての成功
は、5m先にある視力検査表

うに、手術をすること患者
にとつて、最適な視力、は異
なる場合があるということだ。
レーシック手術では角膜を
削る量を増やせば、遠くまで
よく見えるようになる。
単純に視力を上げることだ
けを目的とするならば、最初
から強めに矯正することにな
る。
しかし、よく見える視力は、
必ずしも、最適な視力とは
いえない。普段の生活で手元
しか見えない人にとっては「見
えすぎる」状況となってしまう
からだ。
「視力1・5」に回復すれ
ばよく見えるという象徴のよ
うに掲げていますが、たとえ
ば都会でよく普通に生活して
いて、仕事はパソコン作業が
中心のような人は日常生活に
おいてそこまでの視力は必要
ない場合もあります。かえっ
てよく見えすぎるため、眼精
疲労になることもあります」
(別の眼科医師)

患者は日常生活に支障がな
い「見え方の質」を求める。
何を指して手術の成功という
のだろうか。
「手術結果は検査値で判定さ
れてしまい、見え方の質は保
証していません。そのクリニ
ックが公表する。成功率」と
は、手術を受けた患者の満足
度を示すものではないのです。
クリニックにとっての成功
は、5m先にある視力検査表

近視の度がきついと手術の
際に角膜を削る量が増え、削
る量が増えるほど視界の質が
低下する可能性が高いといわ
れる。
安定した視力を得るために

がよく見えることで、本やパ
ソコンの画面が見えにくく
ても、関係なくなってしまう」
(前田・医師)

医師と患者で「よい視力」
に対する考え方が異なる場合
があることを、しっかりと認識
しておく必要がある。
優れた施設ほど、手術に至
るまでに時間をかけ、複数回
の検査と患者への正確な情報
提供に努めている。また、意
外にもレーシックを積極的に
勧めていない。
そして万が一、手術後に異
常が表れたときは、他の医療
機関での治療が必要になる場
合もある。
いざという状況に備え、検
査から術後経過までを記録し
た「カルテ」を入手しておく
ことも必要だ。快く開示して
くれるかどうかポイントと
なる。

*
見え方が変わる、というこ
とは、よくも悪くも。住む世
界が変わる、ということ。ほ
んの少しまぶしすぎるという
ことでも、起きている間、毎
日その違和感を持って生活す
ることは想像以上のストレス
になる。
自分のライフスタイルなど
を含め、レーシックを受ける
ことが本当に望ましいのかど
うか、もう一度よく考えた上
で、信頼できる眼科を選択し
てほしい。